

環境調査結果のお知らせ

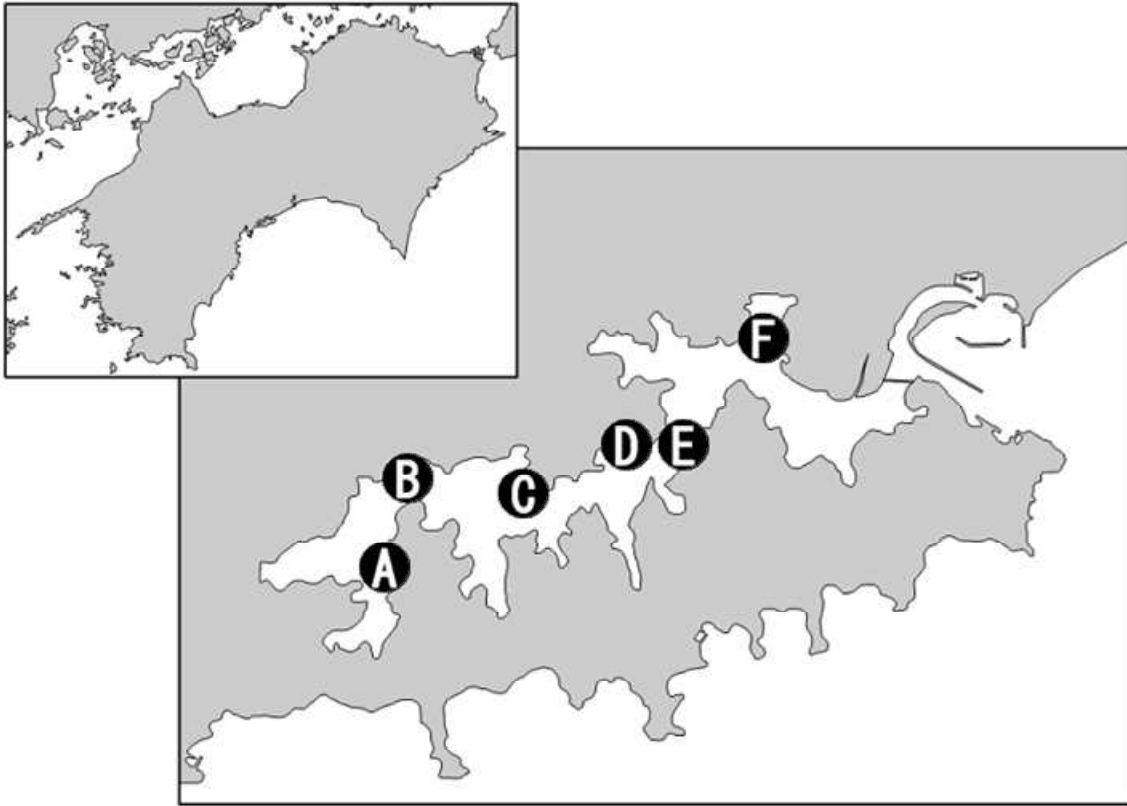
令和6年8月9日9時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモトイが最高で2 cells/mL、シャットネラ属が最高で15 cells/mL確認されました。シャットネラ属の細胞密度は警戒基準値を下回りましたが、依然として湾内の水温はシャットネラ属が増殖可能な範囲内にあるため、引き続き注意してください。

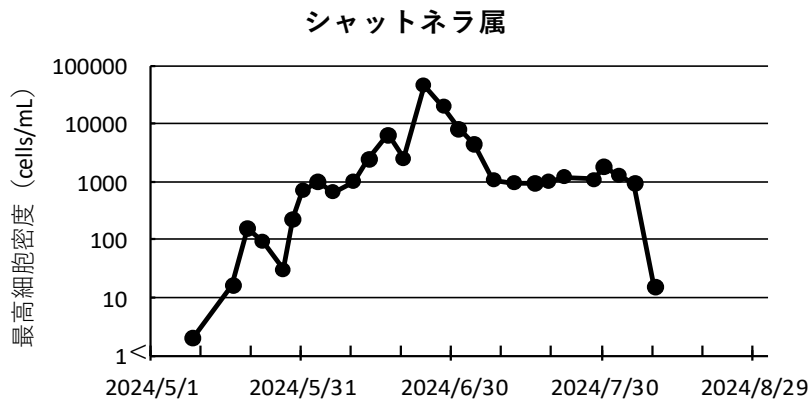
海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン		
	深度	水温	塩分	溶存酸素	カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ 属	珪藻
	(m)	(°C)		(mg/L)			
A 鳴無 (3m) 【09:30】	0	31.0	30.2	6.2	0	0	-
	2	30.1	30.4	4.5	0	0	-
	5	28.0	30.7	2.3	0	15	-
	9	26.8	30.7	0.7	-	-	-
	底層 10	26.3	30.2	0.1	0	2	-
B 中学校前 (3.7m) 【09:36】	0	31.7	16.4	7.0	0	0	3,950
	2	30.2	30.9	5.5	0	1	1,400
	5	29.3	31.3	6.4	0	0	1450
	10	27.6	31.0	2.4	0	2	400
	底層 12.5	26.2	30.6	0.3	0	9	350
C 目ノクソ (3.7m) 【09:46】	0	31.9	30.3	6.6	0	0	3,300
	2	31.4	30.7	6.5	0	0	3,900
	5	29.4	31.4	6.6	0	0	1,400
	10	28.2	31.3	3.0	0	1	1,200
	底層 15	26.8	31.0	0.2	0	0	300
D 光松 (3.2m) 【10:00】	0	31.7	30.6	6.9	0	0	3,900
	2	30.9	31.1	7.3	0	1	2,900
	5	29.6	31.4	6.3	2	1	1,700
	10	28.6	31.4	3.6	0	1	850
	底層 17	26.8	31.1	0.1	0	0	250
E 大鹿 (3.2m) 【10:08】	0	32.0	30.6	6.9	0	0	5,400
	2	30.6	31.3	7.3	0	0	2,750
	5	29.7	31.5	6.3	0	0	740
	10	28.5	31.3	3.9	0	0	600
	底層 16.5	26.7	31.0	0.1	0	0	250
F 水試小割前 (3.6m) 【10:22】	0	31.5	31.0	7.3	0	0	3,050
	2	30.8	31.2	7.3	0	0	2,050
	5	29.6	31.6	5.7	0	0	1,350
	底層 9	29.6	31.9	6.1	0	0	1,800



- A: 鳴無
- B: 中学校前
- C: 目ノクソ
- D: 光松
- E: 大鹿
- F: 水試小割前

令和6年度 浦ノ内湾におけるシャットネラ属の最高細胞密度の推移



参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5～8月	6～8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2～4月	5～6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3～12月	4～8月	4～11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6～7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8～11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1～4月	3～5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2～7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。